

第158回柏崎しんきん地区内経済指標

(平成21年5月)

柏崎信用金庫

1. 人口・世帯数動向

【単位：人、世帯、％】

地区別	人口			世帯		
	人数	前年同月比	前月比	世帯数	前年同月比	前月比
中心部	9,743	-2.14	-0.04	4,023	-0.71	0.09
東部地区	14,402	1.15	0.06	5,671	1.68	0.15
西部地区	10,821	-0.23	-0.09	4,027	0.59	0.09
駅南地区	6,400	0.00	-0.04	2,688	1.43	0.22
半田地区	3,624	1.79	-0.08	1,358	3.66	-0.14
横山地区	5,676	0.79	-0.01	1,857	1.14	-0.05
茨目・田尻地区	6,947	1.04	0.18	2,321	1.84	0.25
荒浜地区	5,134	-1.59	-0.03	2,003	-1.08	-0.04
その他地区	21,177	-1.10	-0.06	7,192	0.22	0.09
西山町地区	6,326	-2.40	-0.20	2,137	-0.69	0.14
高柳町地区	1,974	-2.37	-0.40	839	-1.06	-0.23
柏崎市計	92,224	-0.45	-0.03	34,116	0.61	0.09
刈羽村	4,948	-0.48	-0.08	1,548	0.78	-0.06
小国地区（長岡市）	6,492	-1.18	0.00	2,156	-0.04	-0.18
出雲崎町	5,262	-0.86	-0.15	1,817	-0.54	-0.21
合計	108,926	-0.51	-0.04	39,637	0.53	0.06

（資料出所：柏崎市、各市町村）

地域全体の人口動向は、前年同月比では引き続き全ての市町村・地区で減少しており、柏崎市で417人、0.45％、刈羽村で24人、0.48％、小国地区（長岡市）で78人、1.18％、出雲崎町で46人、0.86％とそれぞれ減少し、全体では565人、0.51％の減少となった。

また、前月比においても、柏崎市で34人、0.03％、刈羽村で4人、0.08％、出雲崎町で8人、0.15％と減少した結果、全体では46人、0.04％の減少となっている。

一方、世帯数は、前年同月比では小国地区で1世帯、0.04％、出雲崎町で10世帯、0.54％と減少したものの、柏崎市で208世帯、0.61％、刈羽村で12世帯、0.78％、と増加したことから、全体では209世帯、0.53％の増加となった。

また、前月比でも、刈羽村で1世帯、0.06％、小国地区で4世帯、0.18％、出雲崎町で4世帯、0.21％と減少したが、柏崎市で33世帯、0.09％、と増加した結果、全体では24世帯、0.06％の増加となっている。

2. 労働需給状況

【単位：人、倍、％】

	柏崎職安	新潟県	前年同月比		前月比	
			柏崎	県	柏崎	県
月間有効求人	604		-49.83		-3.04	
月間有効求職者	1,858		73.15		-2.46	
月間有効求人倍率	0.33	0.32	-0.79*	-0.39*	0.00*	0.00*

*印は差し引き計算

（資料出所：柏崎公共職業安定所）

景気の同時指標である柏崎職業安定所管内の労働需給状況は、有効求人・求職状況（パートを除く常用）では、月間有効求人数が604人と前年同月比で600人、49.83％の大幅な減少、前月比でも19人、3.04％と減少している。

一方、月間有効求職者数は1,858人と前年同月比で785人、73.15％の大幅な増加となったが、前月比では47人、2.46％の減少となっている。

以上の結果、月間有効求人倍率は0.33倍と前年同月比で0.79ポイント下回り、前月とは同数となっている。なお、県平均0.32倍に対しては0.01ポイント上回っている。

また、新規求人・求職状況（パートを除く常用）については、月間新規求人数が267人と前年同月比で172人、39.18％の大幅な減少となったが、月間新規求職者数は336人と前年同月比で44人、15.07％と増加した結果、月間新規求人倍率は0.79倍となり、前年同月の1.50倍に対しては0.71ポイントの大幅な悪化となっている。

3. 建築確認申請

【単位：件】

	当 月 の 申 請			平成21年5月の年度累計	
	件 数	前年同月比	前 月 比	件 数	前年同月比
一 般 住 宅 (併 用)	44	-51	-17	105	-124
共 同 住 宅	3	3	3	3	3
事 務 所	2	2	1	3	0
作 業 所 ・ 工 場	0	-1	-1	1	-4
営 業 建 物	3	-3	-1	7	-2
公 共 建 物	0	-1	0	0	-1
そ の 他	16	-6	7	25	-5
合 計	68	-57	-8	144	-133

(資料出所： 柏崎市建築住宅課)

建築確認申請の状況は、当月の申請合計が68件と前年同月比で57件の大幅な減少、前月比でも8件の減少となった。工種別における主な増減は、一般住宅（併用）が前年同月比で51件と大幅に減少、前月比でも17件の減少となっている。

なお、工種全体の申請内容は、新築が38件、増築が20件、改築が10件となっている。また、一般住宅（併用）44件における市内・市外施工業者別の確認申請の状況については、市内施工業者が32件（うち新築10件、増築14件、改築8件）、市外施工業者が12件（うち新築9件、増築3件）となった。

4. 電力使用量

【単位：口、kwh、%】

	契 約 口 数			使 用 量		
	口 数	前年同月比	前 月 比	使 用 量	前年同月比	前 月 比
電 灯	65,238	-0.92	0.06	18,283	-1.11	-20.31
電 力	11,319	-2.79	0.11	32,543	-22.52	-6.27

(資料出所： 東北電力(株)柏崎営業所)

〔 電灯は、家庭・道路照明・一般器機等に100Vの電源。
電力は、工場・スーパー・モーター動力等主に200Vの電源。 〕

契約口数は、電灯が前年同月比で612口、0.92%の減少となったものの、前月比では42口、0.06%と増加している。一方、電力も前年同月比で326口、2.79%の減少となったが、前月比では13口、0.11%の増加となっている。

使用量は、電灯が前年同月比で207kwh、1.11%の減少、前月比では4,662kwh、20.31%と大幅に減少している。一方、電力においても前年同月比で9,463kwh、22.52%の大幅な減少、前月比でも2,179kwh、6.27%と減少している。

5. ガス供給量・水道給水量

【単位：m³、%】

	ガ ス 供 給 量			水 道 給 水 量		
	供 給 量	前年同月比	前 月 比	給 水 量	前年同月比	前 月 比
家 庭 用	1,322,041	-1.19	-20.08	716,081	1.36	3.68
営 業 用	188,427	-1.03	-23.18	117,563	-7.49	3.51
工 場 用	456,710	-18.02	-8.75	117,574	-2.62	-12.97
官 公 学 校 用	236,124	15.68	-39.88	75,916	-1.44	5.07
そ の 他				39	-82.74	-65.17
合 計	2,203,302	-3.76	-21.11	1,027,173	-0.41	1.53

(資料出所： 柏崎市ガス水道局)

柏崎地域でのガス供給量は、用途合計では前年同月比で86,292m³、3.76%の減少、前月比でも589,589m³、21.11%と大幅に減少している。用途別内訳を見ると、前年同月比では官公学校用を除くすべての用途で減少しており、前月比ではすべての用途で大幅に減少している。

一方、水道給水量においては、前年同月比で4,330m³、0.41%の減少となったものの、前月比では15,538m³、1.53%の増加となった。用途別内訳を見ると、前年同月比では家庭用を除くすべての用途で減少したが、前月比では工場用、その他を除くすべての用途で増加している。

6. 北陸自動車道利用状況

【単位：台、％】

	入 口			出 口		
	台 数	前年同月比	前 月 比	台 数	前年同月比	前 月 比
柏 崎	88,579	1.58	7.47	93,864	2.87	9.05
西 山	48,808	-14.62	11.95	44,372	-16.55	13.84
米 山	25,241	-7.34	12.50	23,522	-6.48	12.37
合 計	162,628	-5.23	9.54	161,758	-4.60	10.81

(資料出所：柏崎市産業振興部観光交流課)

柏崎地域の物流指標となる高速道路出入口の交通量は、入口が全体では前年同月比で8,976台、5.23%の減少となったものの、前月比では14,177台、9.54%と増加している。

一方、出口においても、全体では前年同月比で7,813台、4.60%の減少、前月比では15,782台、10.81%の増加となっている。

インター別で見ると、前年同月比では西山・米山インターの入口・出口で減少しているが、前月比ではすべてのインターの入口・出口で増加している。

7. 市内民間金融機関預金・貸出金残高

【単位：百万円、％】

	預 金			貸 出 金		
	残 高	前年同月比	前 月 比	残 高	前年同月比	前 月 比
末 残	364,012	2.00	1.27	145,993	3.43	0.55
平 残	359,743	2.44	0.16	145,020	3.72	-3.76

預金は、末残が前年同月比で7,171百万円、2.00%の増加、前月比でも4,575百万円、1.27%の増加となった。また、平残が前年同月比で8,573百万円、2.44%の増加、前月比でも609百万円、0.16%と増加している。

一方、貸出金においては、末残が前年同月比で4,849百万円、3.43%の増加、前月比でも810百万円、0.55%と増加している。また、平残が前年同月比で5,213百万円、3.72%の増加となったものの、前月比では5,666百万円、3.76%の減少となった。

8. 市内手形交換高

【単位：枚、百万円、％】

	枚数/金額	前年同月比	前 月 比
交 換 枚 数	28,387	465.47	-17.73
交 換 金 額	17,628	344.64	-32.71
不 渡 り 手 形 枚 数	5	400.00	-50.00
不 渡 り 手 形 金 額	3	515.60	-63.52

(資料出所：長岡手形交換所)

柏崎手形交換所は平成21年3月31日に廃止となり、新たに平成21年4月1日から長岡手形交換所に統合されたため、平成21年4月分から長岡手形交換所による計数となっています。なお、前年同月比については平成22年3月分までは柏崎手形交換所との比較になります。

長岡手形交換所における手形交換高は、交換枚数が前年同月比で23,367枚、465.47%の増加、前月比では6,120枚、17.73%の減少となった。また、交換金額は前年同月比で13,663百万円、344.64%の増加、前月比では8,572百万円、32.71%の減少となっている。なお、不渡手形は5枚、3百万円発生している。

法的整理（負債1,000万円以上）による県内企業倒産9件（前年同月7件、前月7件）、負債総額18億円（同7億円、同25億円）、1件当たりの負債額2億円（同1億円、同3億円）となっている。地区別では下越地区で5件（新潟市2件、胎内市1件、阿賀野市1件、佐渡市1件）、中越地区で2件（三条市2件）、上越地区で2件（上越市1件、糸魚川市1件）発生している。業種別は建設業2件、製造業4件、販売業3件となり、倒産原因については、発生した9件すべてが販売不振となっている。

当月の企業倒産は9件、負債総額で18億円と前年同月比では件数で2件の増加、負債総額でも11億円の増加となっている。なお、負債総額10億円以上の大型倒産は発生していない。

県内経済は、在庫調整の進展から一部の製造業の生産活動は下げ止まりの兆しも見られるが、中小の製造業の倒産が高水準で発生しているなど、全体的に厳しい環境にあることが窺える。また、雇用情勢も悪化していることで消費関連の倒産増加も予想されることから、今後も中小企業の倒産件数は高水準での推移が続くものと思われる。